

平成20年度
松江市教育委員会
点検・評価報告書

平成21年9月
松江市教育委員会

目 次

はじめに	1 ページ
平成 20 年度松江市教育委員会の点検・評価にあたって	
1 点検・評価の趣旨	4 ページ
2 点検・評価の方法	4 ページ
松江市教育委員会の自己点検・評価	
1 平成 20 年度松江市教育委員会の自己点検・評価〔個別評価〕	
(1) 教育委員会の活動	5 ページ
(2) 教育委員会が管理・執行する事務	6 ページ
(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	7 ページ
小中学校教育の充実	7 ページ
特別支援教育の充実	11 ページ
高等学校教育の充実	12 ページ
学習環境・学校施設の整備	13 ページ
学校給食事業の充実と食育の推進	23 ページ
生涯学習の推進	24 ページ
公民館の整備と機能充実	25 ページ
図書館をはじめとする生涯学習関連施設の機能充実	26 ページ
青少年の育成	27 ページ
人権施策の推進	28 ページ
指定文化財の保存・活用	30 ページ
埋蔵文化財の保存・整理	31 ページ
スポーツ振興	33 ページ
スポーツ施設の充実	36 ページ
保育サービス等の充実	37 ページ
安定した雇用の維持・創出	39 ページ
2 平成 20 年度松江市教育委員会の自己点検・評価〔総合評価〕	40 ページ
点検・評価に関する有識者委員の意見	41 ページ

はじめに

平成20年度に松江市教育委員会が重点的に取り組みを行った項目については、次のとおりです。

小中一貫教育の推進について

小学校と中学校の段差をなくした9年間を通じて、郷土を愛し豊かな国際感覚をもち、確かな学力と豊かな心をもつ児童生徒を育成する小中一貫教育を推進するため、平成19年度に八束中学校区を、平成20年度に第四中学校区、玉湯中学校区をモデル地域に指定し、全市的な取組をしていく準備を進めた。また、教育委員会内では、関連課との合同研修会等を実施し、情報を共有した取組の検討など、教育委員会一体となった体制整備を図った。

小中一貫教育の推進は松江市教育委員会の重要施策の一つであり、学校・家庭・地域が協働して実施していくこととしており、更なる機能強化や情報提供を行う必要がある。

各モデル中学校区の具体的な取組については、以下のとおりである。

八束中学校区

八束中学校区では、平成19年度に引き続き、より充実した取組が進められた。特に、小学校授業へ中学校の教職員が参加する小中教職員相互交流授業（共同指導授業）の取組によって「2人先生がいるので授業がわかりやすい」「中学校への不安もなくなった」などの小学生の声が聞かれるとともに、小学生と中学生が交流する活動などを通して小学生に接する中学生の優しくたくましい姿が見受けられた。

また、このような取組を通して、小中教職員の相互理解が深まるとともに、教師の指導力向上にもつながっている。このような取組の成果は、平成20年11月18日に開催した研究発表会において報告が行われた。

第四中学校区

大規模校区のモデル地域として指定した第四中学校区では、校区小中学校全教職員会議や全教職員の小中相互交流等を工夫して実施するなど、小中の教職員が一堂に会して話し合うことや、授業を通して交流を深めることによって、子どもたちの教育への相互理解が深まり、より充実した指導・支援の取組が進みつつある。

また、小学校から中学校への滑らかな接続、「中1ギャップ」の解消等を目的に、夏休みに校区小学校6年生全員を対象とした四中体験入学を実施し、小学生が抱える中学校進学への不安感を期待感へ変える取組が進められている。

玉湯中学校区

規模の違う小学校を持つ校区のモデル地域として指定した玉湯中学校区では、これまでの文部科学省の指定研究の取組を引き継ぎながら、小中合同授業研究会等を通して校区の子どもたちの課題や良さの共通認識を図り、それを基に小中学校が一貫した学習指導、生活指導を進めるための手だてや内容を検討するなど具体的な取組が進められている。

また、「ようこそ後輩」と題した中学生と小学生の交流活動・合同授業等の実施によ

各モデル地域に設置した「小中一貫教育地域推進協議会」（中学校区の地域、PTA）

図書館事業について

平成20年6月1日に島根図書館が初の地域館として島根町に開館した。これに伴い、松江市立図書館の名称を松江市立中央図書館と改めた。また、平成20年11月1日から移動図書館（ブックモバイル）の運行を開始し、遠隔地へ図書館サービスを提供している。

松江市立中央図書館では、12月1日から12日まで蔵書点検を行い、その期間に館内床3分の1のじゅうたん貼替を行った。これに併せ、新聞コーナーの移動、ブラウジングコーナー・おはなしコーナーを広げ、更に親しまれる図書館作りを目指した。

その他、開館時間を19時まで延長する試行を、前年度より1カ月増やし3カ月間（7～9月）行った。「伝統を受け継ぐ匠に学ぶ」の共通テーマの下に、図書館入り口に1カ月単位で展示を行った。

松江市立中央図書館

・利用状況について

利用者数	111,927人（前年度109,811人の約1.02倍）
貸出冊数	540,724冊（前年度537,283冊の約1.01倍）
予約冊数	25,093冊（前年度 22,421冊の約1.20倍）
アクセス件数	2,364,055件（初の年間200万件を突破）
蔵書検索	124,681件（前年度108,143件の約1.15倍）
図書購入数	11,016冊（前年度12,115冊の約0.91倍）
所蔵総数	312,306冊（雑誌・A Vは除く）

・主催講座について

- 松江藩講座（受講生が150人を超える人気講座）
- 小泉八雲に学び・親しむ（八雲の作品を鑑賞する会をリニューアルした講座）
- 古文書を読む会
- 語り手のための講座（ストーリーテリング）

・図書館ボランティア活動について

- 市立図書館おはなし出前の語り手ボランティア延べ245人（幼稚園・小学校での活動94回、対象児童等4,882人）
- 中学生ボランティア延べ281人（夏休み、春休み）
- 島根大学学生ボランティア延べ128人
- その他ボランティアの受入延べ460人（総合学習、職場体験、司書実習など）

・除籍について

- 蔵書冊数が増加し、図書館の開架・閉架の収容能力が飽和状態になりつつある。
- 図書資料の除籍基準を新設し、今後、除籍資料の有効活用を図る。

移動図書館と配本活動

・移動図書館車（ブックモバイル）

平成20年11月1日運行開始、巡回地域78箇所、利用者数730人、貸出冊数14,342冊

・配本活動

配本地域46箇所（移動図書館車運行前は70箇所）へ延26,500冊を配本

松江市立島根図書館

平成20年6月1日開館（島根公民館複合施設）、利用者数4,453人、貸出冊数16,204冊

学校図書館

学校図書館は、児童生徒の自由な読書活動や読書指導を行う「読書センター」の機能
平成21年度には、全小中学校48校すべてに学校図書館司書を配置する予定である。

英語教育活動について

松江市は国際文化観光都市として、国内外の人々の交流が深められている。

これからの時代を担う児童生徒には、国際化への意識の高揚を図るとともに、英語等を使ったコミュニケーション能力の向上を図る必要がある。

そのための具体的方策として、外国語指導助手（以下ALT）や外国語活動指導協力員を多く配置し、外国語活動、英語教育の推進を図ってきた。

ALTを全小中学校48校（分校を除く）、高等学校1校に配置し、外国語活動指導協力員を希望のあった全ての小学校に配置することにより、ネイティブスピーカーに触れる機会が増え、子ども達の英語等を使ったコミュニケーション能力を高めるよう努めてきた。

また、英語を母国語とする多様な国々の文化を、ALTを通して直接体験することができ、国際理解を深め国際協調への意識、態度の育成を図ることができると考えた。

加えて、日本人教師とALTや外国語活動指導協力員が協力してティームティーチングを実施することで、指導法、教材等の工夫・改善・開発が進み、児童生徒一人ひとりの英語能力の向上につなげてきた。

埋蔵文化財発掘調査について

松江市歴史資料館（仮称）の建設及び県道大手前線拡幅事業に伴って実施した埋蔵文化財発掘調査により、中心市街地の地下に近世城下町の遺構・遺物が埋蔵されていることが判明した。

旧市街地はほぼ全域が旧城下町であり、これまで大きな変化を受けていないことから、近世都市が地下に残っている可能性が高く、今後これら地下に眠る遺構をどの様に調査し、どの様に活かせるのか、本市の将来像を見据えた総合的な検討を行うため、関係機関との調整を進めていく。

市史編纂について

合併に伴う新市の誕生及び松江開府400年を機に、昭和16年に発刊した旧版『松江市誌』以来ほぼ70年ぶりに新市の『松江市史』を編纂・発刊することとし、平成20年度は「基本計画」を策定した。

今後10年をかけて、19巻の市史を編纂・発刊する計画である。

特に「史料篇」は、本市の歴史を知る上で欠かせないものであり、今後更なる発展を考える際の根幹資料となるものである。

本市の重要資産になることは間違いない。

学校屋外運動場の芝生化について

子どもたちの体力向上及び地球温暖化対策のための緑化意識の普及や高揚を図るとともに、学校と各種地域団体とが協働して芝生の移植作業や維持管理を実施することによる地域コミュニティの醸成や新たな地域連携のきっかけづくりを目的に、平成20年度新規事業として屋外運動場芝生化モデル事業を実施した。

モデル校は内中原小学校・朝酌小学校・宍道小学校・古志原小学校・竹矢小学校の5校を選定し2ヵ年で実施することとした。

今後モデル校の取り組みを検証しながら、全小中学校の屋外運動場芝生化にむけ体制整備を図っていく。

教育委員会組織・機構の見直しについて

重要施策の推進や組織の効率化を図るため、組織機構の見直しを行い、学校管理課を新設し、学校との連携を深め、施設の維持管理や速やかな修繕の対応を行った。

教育委員会会議について

教育委員会会議では、事務局からあらかじめ配られた資料の内容を確認して会議に出席することで、より活発な議論が交わされるよう努めた。また、新年度の予算編成においては担当課から事業内容について聴取し、意見するなど積極的に関与した。

平成20年度松江市教育委員会の点検・評価にあたって

1 点検・評価の趣旨

平成19年6月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成20年度から教育委員会の権限に属する事務のすべてにおいて、その管理・執行状況の点検・評価を行い、報告書を議会に提出することとされました。

松江市教育委員会では、平成19年度以前も、本市の教育の発展のために実施した事務事業について、市全体で行っている行政評価の一環として、自ら点検・評価を行い、改善に取り組んできました。

このたびの教育委員会の事務の点検・評価にあたっては、これまでの取り組みを生かし、「教育委員会の活動」、「教育委員会が管理・執行する事務」、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に区分して行うこととしました。

そして、点検・評価結果を次年度施策へ反映させる意味からも、点検・評価の対象は、前年度に実施した事務とし、議会への報告は、毎年9月に行いたいと考えています。

全国的に教育に関する諸問題が山積し、教育委員会のあり方が問われる中、有識者委員からも点検・評価をいただいた本報告を大切な教材として活用し、効率的な教育行政の推進に努めるとともに、点検・評価結果を公表し、市民への説明責任を一層果たしてまいります。

2 点検・評価の方法

教育委員会の権限に属する事務を次の3つに分類しました。

- (1) 教育委員会の活動（教育委員会の活動及び運営状況等）
- (2) 教育委員会が管理・執行する事務（教育委員会会議に諮られる事項）
- (3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務（事務局が実施する事務事業）

(1)と(2)については、実績により評価を行いました。

(3)については、既存の松江市の行政評価の手法を活用し、教育委員会として独自の評価を行いました。

松江市教育委員会の自己点検・評価

1 平成20年度松江市教育委員会の自己点検・評価〔個別評価〕

自己点検・評価〔個別評価〕の考え方

・相対評価については、文部科学省の「教育委員会の現状に関する調査（平成18年度間）」と比較した。
 ・「（2）教育委員会が管理・執行する事務」の区分については、「松江市教育委員会教育長に対する事務委任規則」に対応するものとした。

大項目	中項目	小項目	実績	評価（a、b、c、d）
(1) 教育委員会の活動	教育委員会会議の運営	(ア)教育委員会会議の開催回数 ・毎月1回の定期開催 (合計12回の開催)	・会議を20回開催（うち持ち回り会議6回） 参考：平成20年度16回	a（優れている） 予定回数及び全国平均の12.4回と比べて多い。
		(イ)教育委員会会議の運営上の工夫 ・議案、前回会議録の配布は、会議2日前。 ・会議開催広報は、2～3週間前にHP掲載。 ・案件告示は、数日前	・議案、前回会議録の配布は、2日前。 ・会議開催広報は、2週間前にHPに掲載 ・案件告示は、数日前	b（やや優れている） 案件の取りまとめに時間を要し、案件告示が会議間近になることがあった。
	教育委員会会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	(ア)教育委員会会議の傍聴者の状況	・傍聴者は、延べ8人（主に報道関係者） 参考：平成19年度15人	b（やや優れている） 平均傍聴者数0人の市町村教育委員会の割合81.6%との比較
		(イ)議事録の公開、広報・公聴活動の状況 ・会議録の公表	・HPによる公表準備を進めたが、HP管理システムの導入準備により中断。 ・自己点検・評価により会議要旨を公表。	b（やや優れている） 会議録を公表していない市町村教育委員会の割合64.3%との比較
	教育委員会と事務局との連携	(ア)教育委員会と事務局との連携	・委員と事務局、また、委員間の意見交換の場として協議会を開催。	b（やや優れている） 委員が求める教育行政のあり方や教育関係事業の進め方等について意見交換を実施した。
	教育委員会と首長等の連携	(ア)教育委員会と首長等との意見交換会の実施 ・定期的な意見交換の実施	・平成20年度松江市立学校校長合同会議で市長との懇談の場を持った。	b（やや優れている） 首長との意見交換を行っていない市町村教育委員会の割合68.8%との比較
	学校・地域の教育活動への支援・参加	(ア)学校訪問 ・幼小中への計画的な訪問	・教育委員の学校訪問を実施し計20校を訪問。 5/23、7/3、10/16、10/23 ・今年度、全小中学校の訪問が終了	a（優れている） 幼小中77校のうち延53校を訪問し、今年度で小中学校すべての訪問が終了した。 学校訪問では、教職員と教育環境に関する意見交換を行った。 平成21年度以降、幼稚園を計画的に訪問する予定。
		(イ)所管施設の訪問 ・社会教育施設、文化施設、体育施設への計画的な訪問	・島根公民館、島根図書館及び市営陸上競技場へ、記念式典及び市民体育祭の際に訪問	c（やや劣っている） 所管施設の訪問は、教育関係行事の際にしか行っていない。 平成21年度以降、公民館施設から順次計画的に訪問する予定。
		(ウ)教育関係事業への参加	平成20年度青年の主張松江大会（9/4）、第31回市民体育祭（10/12）、人権同和・教育発表会（10/17、10/21、10/30、11/18、11/28）、松江市歴史資料館（仮称）建設工事起工式（1/30）	a（優れている） 多くの教育関係行事に教育委員が積極的に参加している。

大項目	中項目	小項目	実績	評価 (a、b、c、d)
	教育委員の自己研鑽	(ア)研修会への参加状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度島根県市町村教育委員会連合会研修会参加(7/7、全委員) 平成20年度東部地区市町村教育委員研修会(8/4、1委員) 平成20年度市町村教育委員会研究協議会(第27回)参加(9/4~5、委員長) 	b(やや優れている) 研修機会を逃さず、全委員の研修参加を果たした。会議終了後、協議会がない際に、必要に応じて委員間の意見交換を実施した。
(2) 教育委員会が管理・執行する事務	教育に関する事務管理及び執行の基本的な方針に関すること。		<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の権限に属するすべての事務について、自己点検・評価を行った。 	b(やや優れている) 点検・評価を行うにあたり、有識者からも意見をいただきながら、改善点や課題の抽出を行った。
	教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。		<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度中に公布した委員会規則は14件、制定した訓令は8件。主なものは次のとおり。 松江八束市町村合併に伴い、小・中学校の文書管理を統一化し、事務処理の適正化と効率化を図るため、松江市立小・中学校文書取扱規程を制定 	a(優れている) 制定又は改廃の必要なものについては、過不足なく制定した。
	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。		<ul style="list-style-type: none"> 島根図書館の新規オープン、また、移動図書館車(ブックモビル)の巡回による図書館資料の貸出し開始により、条例及び同施行規則を一部改正した。 	b(やや優れている) 個別施設の設置・廃止については、委員協議会で詳細に検討した。個別施設の契約案件については、委員会で審査を行った。
	県費負担教職員の懲戒及び任免その他の進退について内申すること。		<ul style="list-style-type: none"> 県費負担教職員の発令について、その都度内申を行った。 	
	県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。		<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度に見直すべき事項なし。 	
	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。		<ul style="list-style-type: none"> 平成21年4月の人事異動に際し、市長事務部局(人事課)と協議を行った。 	
	校長、教員その他の教育職員の研修の一般方針を定めること。		<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度に見直すべき事項なし。 	
	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。 ・有識者の意見の反映		<ul style="list-style-type: none"> 有識者委員3名の意見を受け、点検・評価を行い、報告書を作成した。 	b(やや優れている) 有識者委員から受けた意見の一部は平成21年度の点検・評価へ反映させることとした。
	歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案に係る意見の申出に関すること。		<ul style="list-style-type: none"> 各議会前の教育委員会で、予算、補正予算の法律上の教育委員会の所管部分について議決した。 事務局に、来年度以降は予算要求前に協議を行うよう要望した。 	b(やや優れている) 予算執行段階、次年度予算要求段階での委員と事務局の協議を行った。議会と同程度の説明を教育委員会で行っている。
	教育課程の内容及びその取扱いの一般方針を定めること。		<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度は該当なし 	
	学校その他の教育機関の建築計画を決定すること。		<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度は該当なし 	
	審議会委員等の任免又は委嘱に関すること		<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育就学審議会委員、図書館協議会委員、体育指導員、菟古館運営委員会委員、社会教育委員及び公民館運営審議会委員の任免、委嘱について、慎重審議のうえ議決した。 	b(やや優れている)
	通学区域を定めること		<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度は該当なし 	
(3)教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務			7~39ページ記載の「(3)教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」のとおり。	

(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

〔点検・評価表について〕

- 1 事務事業：次の基準により97事業を選定した。
 - ・松江市総合計画に位置付けられている主要事業
 - ・その他、平成20年度の特徴的な教育関係事業
- 2 担当課：点検・評価結果を次年度施策へ反映しやすくするため、平成21年度の名称とした。
- 3 評価：必要性、効率性、達成度、有効性を、4点、3点、2点、1点で表し、点数が高いほど良い。
- 4 総合評価：今後の事務事業の進め方を、A、B、C、Dの4指標で表す。
 - A 概ね適切に執行
 - B 事業の進め方の改善
 - C 事業の実施主体やコストの改善
 - D 事業の廃止・休止を検討
- 5 事業費：計画（当初予算額）と実績（決算額）との比較であり、補正予算額は含まない。

小中学校教育の充実

事務事業名	小中一貫教育推進事業				担当課	小中一貫教育推進課		
概要	小中9年間の児童生徒の発達を見据え、小中一貫教育の体制づくりを推進し、教職員の指導力の向上を図るとともに、保護者・地域と協働した体制づくりを行う。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル地域3中学校区を指定（八束中、第四中、玉湯中） ・その他12中学校区を推進地域とし、小中一貫地域推進協議会を開催 ・小中一貫教育コーディネーター3名配置 ・先進地視察（広島県府中市、東京都三鷹市） 							
事業費	計画	6,864千円			実績	7,342千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	心とからだの育成事業				担当課	学校教育課		
概要	いじめ、不登校など学校教育の緊急課題の解決を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援員派遣の拡大と充実（家にひきこもりがちな児童生徒に対する支援の拡大） ・小中一貫教育の研究指定地域における調査・研究の充実 ・コーディネーション運動の推進 							
事業費	計画	3,047千円			実績	2,851千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	外国青年招致事業				担当課	学校教育課		
概要	英語を母国語とする国から外国青年を招致し、小学校での英語活動及び国際理解教育、中学校と市立女子高の英語教育の充実を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率化を図るため、外部委託のALT（外国語指導助手）を9月から6名配置 ・全体総数を1名減（民間委託への移行） 							
事業費	計画	92,756千円			実績	88,626千円		
評価	必要性	4点	効率性	2点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	C 事業の実施主体やコストの改善						
	特記事項	すべてのALT（外国語指導助手）を民間委託するのが最も効果的であるが、現在、民間に委託するALTは7名であり、JET（自治体国際化協会）のALT11名を直接雇用している。						

事務事業名	学力調査事業			担当課	小中一貫教育推進課			
概要	市内の児童生徒を対象とし、国語、算数・数学、理科、社会、英語の学力の実態を把握するとともに、意識調査により生活・学習習慣等との関連も把握する。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力調査、鳥根県学力調査を前年度から継続実施（対象：小学校3年生から中学校3年生までの全児童生徒） ・県平均値を上回る教科数が目標より少なく、今後は、本調査がより具体的な「学力向上対策」に活用できるよう、調査内容及び実施方法を検討したい。 							
事業費	計画	7,007千円		実績	6,418千円			
評価	必要性	3点	効率性	3点	達成度	4点	有効性	2点
	総合評価	B 事業の進め方の改善						
	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・県との合同実施調査のため、5月調査の結果が7月に届くなど結果通知までに時間がかかる。児童生徒個々へより効果的な指導・支援をするためには、1ヶ月以内に結果を通知し活用できるように、市単独での実施や実施学年・教科の精選など実施方法の工夫が必要である。 ・市としての学力調査は平成16年度から5回目となり、市全体的な分析等はほぼできている。今後は、各学校・校区の課題に対応した個別の調査等を実施し、より具体的な学力向上策に生かす工夫が必要である（予算配分含む）。 ・なお、「目標達成」が「県平均値を上回る教科数が目標より少なく」とされているが、目標値を当初より「すべての学年・教科で県平均値を上回る数」に設定しているため、経年比較では、年々「上回る学年・教科が増えている」ことから、「学力向上の取組が着実に成果を上げている」と考えている。 						

事務事業名	教える力向上プロジェクト事業			担当課	小中一貫教育推進課			
概要	保護者・教員の学力に関する意識を高めるとともに、子どもたちの学力向上策を検討する。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育プランに基づき学校教育改革推進委員会を開催（2回） ・保護者、教員対象の講演会開催（参加者275人） <p>平成21年度から「小中一貫教育推進事業」に統合</p>							
事業費	計画	679千円		実績	650千円			
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

事務事業名	松江サタデースクールモデル事業			担当課	学校教育課			
概要	「教育力日本一」を目指す取り組みの一環として、児童生徒の学ぶ機会を増やし、自ら学ぶ意欲の向上を図るため土曜日を開校し、希望児童生徒に学習指導を実施する。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・開校数13校（小学校7校：法吉、内中原、母衣、朝酌、竹矢、本庄、美保関） （中学校6校：第二、第四、湖北、鳥根、美保関、八雲） ・参加児童生徒数900名 ・地域ボランティア、市職員ボランティアの派遣 							
事業費	計画	2,982千円		実績	2,283千円			
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	総合的な学習の時間充実事業				担当課	学校教育課		
概要	地域の「ひと・もの・こと」に関する学習活動を行う総合的な学習の時間を実施するうえで必要な経費を配分し、その充実を図る。							
実績	学校規模に応じ総合的な学習の時間推進に係る経費を配分し、各学校の特色ある教育活動並びに環境教育や福祉教育の推進にも寄与している。							
事業費	計画	5,848千円			実績	5,520千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	小学校英語活動指導協力員派遣事業				担当課	学校教育課		
概要	すべての小学校に英語活動指導協力員を派遣し、国際文化観光都市松江を担う国際感覚を身に付けた人づくりを目指す。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> 派遣校 全小学校34校 派遣協力員人数 20名 派遣回数（総計）1,622回 							
事業費	計画	9,483千円			実績	9,201千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	小学校スクールアドバイザー事業				担当課	学校教育課		
概要	小学校における生徒指導の充実に努め、不登校や問題行動の未然防止と早期対応を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> 小学校9校にスクールアドバイザー9名配置（各校1名：城北、中央、津田、古志原、川津、法吉、竹矢、乃木、大庭） 小学校4校に中学校と兼務するスクールアドバイザー4名配置（各校1名：玉湯、美保関、八雲、宍道） 							
事業費	計画	19,665千円			実績	18,044千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	中学校スクールアドバイザー事業				担当課	学校教育課		
概要	中学校における生徒指導の充実に努め、不登校や問題行動の未然防止と早期対応を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> 中学校12校にスクールアドバイザー15名配置（各校1名：第三、湖南、湖東、湖北、鹿島、玉湯、美保関、八雲、宍道 9校） （各校2名：第一、第二、第四 3校） 							
事業費	計画	30,691千円			実績	30,330千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	パワーアップ松江っ子サマースクール事業				担当課	小中一貫教育推進課		
概要	8月を「パワーアップ松江っ子月間」と位置づけ、著名な講師を招聘し、児童生徒の学力の向上を図るとともに、保護者の学力に対する意識の高揚と教職員の指導力の向上を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・授業数6コマ（うち講演会1回） ・児童生徒参加数331人、保護者参加数173名、教職員参加数218名 ・講師：野口芳宏（国語）、坪田耕三（算数）、北野大（理科）他 							
事業費	計画	772千円			実績	531千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	ノーテレビ・ノーゲーム推進事業				担当課	小中一貫教育推進課		
概要	児童生徒一人一人が自己の健康を保持増進のため、生活習慣を見直し、望ましい生活リズムを形成することの具現化を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回（5・11・2月）各1週間の取組みを実施 ・全小、中学校にアンケート実施（実態把握と取組み検証） ・標語募集とのぼり旗作成 ・講演会の開催 参加者数 200人 							
事業費	計画	0千円			実績	158千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

成果	<p>【学校教育課】 小学校、中学校、女子高における英語教育の充実が、国際的感覚を身につけた人づくりに貢献している。 サタデ スクールにより児童生徒一人一人に応じた学習指導を行い、児童生徒の学ぶ意欲と学力の向上につながり、「教育力日本一」の本市施策に貢献している。 スクールアドバイザーの学校配置により、悩みを抱える児童生徒への直接的な相談・援助を行い、学校相談体制の充実が図られたとともに、家に閉じこもりがちな不登校児童生徒への学習支援員の派遣により、学校復帰など状況が改善された。</p> <p>【小中一貫教育推進課】 小中一貫教育の推進は、学力向上や不登校対応など教育諸課題への対応策として期待が大きく、地域の教育力を高める取り組みでもあることから「人づくり」から「まちづくり」の取り組みにもつながる。</p>
課題	<p>【学校教育課】 ALT派遣に関する事業の一層の充実を図る。 サタデスクールに係る人員の確保に工夫が求められている。</p> <p>【小中一貫教育推進課】 小中一貫教育推進事業は、平成22年度を全市一斉取組年度（本格実施）としている。 平成21年度には、モデル地域を市内4中学校区、推進地域を11中学校区指定して推進するが、本格実施に向けて学校数や学校規模、地域の実態等の違いを踏まえ、各中学校区・地域の特色を生かした取組みが必要となる。</p>

今後の進め方
<p>【学校教育課】 訪問型の学習支援事業の拡充を図り、家に閉じこもりがちな児童生徒への支援を拡充させる。スクールアドバイザーがソーシャルワーク的な支援ができるよう、スクールソーシャルワーカーへの移行を段階的に進めていく。 民間ALTの積極的な導入を図る。</p>
<p>【小中一貫教育推進課】 平成21年度は、小学校を多数持つ第一中学校区を新たにモデル地域として追加し、計4中学校区をモデル地域として地域推進協議会を立ち上げ、小中教員の相互授業の実施や小中学生の相互交流などの取り組みを進める。 モデル地域以外の中学校区は、平成22年度の本格実施に向けた準備年度とし、小中教員の相互授業の実施や小中学生の相互交流などの取り組みを推進する。 また、小中一貫教育の目的や具体的な取り組み、進捗状況などについて冊子（パンフ）等を作成し、保護者・地域への啓発を行う。</p>

特別支援教育の充実

事務事業名	特別支援教育指導員配置事業				担当課	特別支援教育課		
概要	通常の学級に約6%在籍するといわれている特別な支援の必要な児童生徒について、小中一貫した望ましい教育的対応の在り方について、指導員を配置し実践的研究を進めるとともに、実際の指導体制の充実を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校34校中2校へ指導員2名配置（配置校：恵曇小学校、美保関小学校） ・通常の学級支援の充実と学習障害等実態研究調査の研究に成果を上げた。 							
事業費	計画	4,074千円			実績	3,969千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	学習障害等実態研究調査事業				担当課	特別支援教育課		
概要	通常の学級に約6%在籍するといわれている特別な支援の必要な児童生徒について、小中一貫した望ましい教育的対応の在り方について、研究協力校において実践的研究を進めるとともに、実際の指導体制の充実を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究協力校を7校指定（小学校：津田、古志原、母衣、中央、恵曇、美保関 6校）（中学校：第四 1校） ・実践的研究の実施 							
事業費	計画	449千円			実績	445千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	3点	有効性	3点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	特別支援南北拠点校充実事業				担当課	特別支援教育課		
概要	乳幼児期からの一貫した支援体制の充実を図るため、橋南橋北にそれぞれ拠点校を置く。 本事業により就学支援専門相談員を配置し、相談及び指導・支援体制の充実を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校34校中2校へ相談員2名配置（配置校：母衣小学校、中央小学校） ・保育園、幼稚園、小学校、中学校の幼児児童生徒の就学判断等のために178件の発達検査を実施した。 							
事業費	計画	4,074千円			実績	3,993千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						
	特記事項	心理検査の実施により、多くの幼児児童生徒の客観的な実態把握ができ、就学指導や学習適応などの方向性を定めるのに大きく役立った。						

事務事業名	特別支援学級介助員配置事業				担当課	特別支援教育課		
概要	特別支援学級の指導の充実と児童生徒の安全を確保するため、介助員を配置する。担任の指導に併せ本事業を実施することにより、児童生徒の教育活動を充実させるとともに、通級指導教室に指導員を配置し、通級指導教室の指導・支援の充実を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校50校中9校へ介助員13名配置し、特別支援学級児童生徒の学習及び生活の介助を実施した。（小学校：母衣、中央、古志原、乃木、大庭、恵曇、島根）（中学校：第一、第三） ・小学校34校中2校へ指導員2名配置し、通級指導教室において指導・支援を実施した。（配置校：母衣小学校、中央小学校） 							
事業費	計画	12,971千円			実績	14,185千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						
	特記事項	特別支援学級の介助員配置により、障害のある児童生徒の学習や生活への適応性を高めるとともに、学級全体の安定に効果が上がった。						

成果	<p>【特別支援教育課】 介助員の配置が特別支援学級に在籍する児童生徒の学校生活全般にわたる自立支援につながるとともに、通常学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒への支援内容や方法に関するモデル的な取り組みが成果を上げている。 また、通常学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒の小中一貫した支援の取り組みについて、モデル的に研究した。</p>
課題	<p>【特別支援教育課】 小中学校の通常学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒が増加しており、小中学校における支援の充実を図るための体制強化が必要である。 また、保健・福祉・教育・医療等が連携した早期発見・早期支援を進め、乳幼児期からの一貫した支援体制の構築が必要である。</p>
今後の進め方	<p>【特別支援教育課】 松江市の特別支援教育の在り方検討委員会を設立し、松江市としての一貫した支援体制づくりの方向性を明確にし、関係各課との連携を一層強化し、新しい支援体制づくりの準備を進める。</p>

高等学校教育の充実

事務事業名	女子高あり方検討事業				担当課	教育総務課		
概要	女子高は、女子生徒の進学先として昭和29年以来、50年以上にわたり女子教育に邁進してきたが、少子化の影響もあり定員割れが生じている。校内等でも平成18年度から検討を進めているが、このたび外部有識者の意見も取り入れた女子高のあり方を検討する。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・松江市立女子高等学校のあり方検討委員会設置（平成20年8月） ・検討委員10名（学識経験者 梶田叡一氏ほか6名、松江市教育委員会3名） ・検討委員会回数3回（8/28、11/20、2/2） ・神戸夙川学院大学との高大連携協定締結（平成20年4月1日） 							
事業費	計画	623千円			実績	191千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成21年度で事業が完了予定）						

事務事業名	女子高・杭州市相互交流事業				担当課	市立女子高		
概要	中国杭州市との相互交流により、異国の文化・生活を体験し友好を深め、地歴公民・中国語の学習に役立てる。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市立女子高訪問団の派遣（10人） ・杭州第十四中学での授業参加やホームステイ 							
事業費	計画	980千円			実績	809千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	3点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

成果	<p>【教育総務課】 専門家を委員委嘱し、検討委員会を設立したことで、全国的な先進事例等を参考にしながら幅広い視点で検討を行うことができた。 また、女子高と神戸夙川学院大学との高大連携協定に基づく様々な行事等の共同活動を通じて、観光文化振興に関する相互理解が深まり、教育の活性化が図られた。</p> <p>【市立女子高】 教育分野における相互交流が国際的視野の広がりにつながっている。</p>
課題	<p>【教育総務課】 方向性の取りまとめに向け、更に議論する必要がある。</p> <p>【市立女子高】 特別な課題はなし。</p>
今後の進め方	<p>【教育総務課】 平成21年度中に検討委員会として方向性をまとめる。</p> <p>【市立女子高】 今後も訪問団10名程度の規模で、事業を継続していきたい。</p>

学習環境・学校施設の整備

事務事業名	本庄小学校屋内運動場整備事業				担当課	教育総務課		
概要	昭和40年に建築された老朽化の著しい本庄小学校屋内運動場を改築することにより、耐震性の確保と教育環境の充実を図るとともに、地域の防災拠点としての整備を行う。							
実績	改築工事							
事業費	計画	211,878千円			実績	183,650千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

事務事業名	大野小学校屋内運動場耐震補強事業				担当課	教育総務課		
概要	耐震診断により耐震性が低いと判定された大野小学校屋内運動場の耐震補強を行うことで、教育環境の整備を図るとともに、地域の防災拠点としての充実を図る。							
実績	実施設計							
事業費	計画	3,163千円			実績	2,289千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成21年度で事業が完了予定）						

事務事業名	生馬小学校校舎整備事業				担当課	教育総務課		
概要	建築後30年以上経過し老朽化の著しい生馬小学校校舎を改修することにより、機能改善及び教育環境の充実を図る。							
実績	大規模改修工事（耐震補強、老朽改造）							
事業費	計画	144,242千円			実績	116,947千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成21年度で事業が完了予定）						

事務事業名	城北小学校校舎整備事業				担当課	教育総務課		
概要	昭和45～46年に建築された城北小学校を改築することにより、耐震性の確保と教育環境の充実を図る。							
実績	南校舎改修工事							
事業費	計画	53,794千円			実績	51,725千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成21年度で事業が完了予定）						

事務事業名	城北小学校校舎整備事業（継続費）				担当課	教育総務課		
概要	昭和45～46年に建築された城北小学校を改築することにより、耐震性の確保と教育環境の充実を図る。							
実績	改築工事							
事業費	計画	318,883千円			実績	178,541千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成21年度で事業が完了予定）						

事務事業名	津田小学校整備事業				担当課	教育総務課		
概要	津田小学校北棟の危険改築、南棟の大規模改造及び屋内運動場の改築を行い、教育環境の充実と耐震性の確保を図るとともに、地域の防災拠点としての整備を行う。							
実績	校舎基本・実施設計							
事業費	計画	54,636千円			実績	13,258千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	乃木小学校屋内運動場耐震補強事業				担当課	教育総務課		
概要	耐震診断により耐震性が低いと判定された乃木小学校屋内運動場の耐震補強を行うことにより、耐震性の確保と教育環境の充実を図るとともに、地域の防災拠点としての整備を行う。							
実績	実施設計							
事業費	計画	6,017千円			実績	3,864千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成21年度で事業が完了予定）						

事務事業名	古志原小学校屋内運動場耐震補強事業				担当課	教育総務課		
概要	昭和52年に建築された耐震性に欠ける古志原小学校屋内運動場の耐震補強を行うことにより、耐震性の確保と教育環境の充実を図るとともに、地域の防災拠点としての整備を行う。							
実績	実施設計							
事業費	計画	6,206千円			実績	3,917千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成21年度で事業が完了予定）						

事務事業名	鹿島東小学校屋内運動場整備事業				担当課	教育総務課		
概要	昭和50年に建築された老朽化の著しい鹿島東小学校屋内運動場を改築することにより、耐震性の確保と教育環境の充実を図る。							
実績	既存解体工事							
事業費	計画	20,119千円			実績	20,232千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

事務事業名	鹿島東小学校屋外教育環境整備事業				担当課	教育総務課		
概要	鹿島東小学校屋内運動場の改築に伴い、屋外教育環境の充実を図るための整備を行う。							
実績	土木工事							
事業費	計画	50,000千円			実績	33,732千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

事務事業名	島根小学校屋外教育環境整備事業				担当課	教育総務課		
概要	島根小学校屋内運動場の改築に伴い、屋外教育環境の充実を図るための整備を行う。							
実績	土木工事							
事業費	計画	50,000千円			実績	47,612千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

事務事業名	来待小学校屋内運動場耐震補強事業（緊急経済対策）				担当課	教育総務課		
概要	耐震診断により耐震性が低いと判定された来待小学校屋内運動場の耐震補強を行うことにより、耐震性の確保と教育環境の充実を図るとともに、地域の防災拠点としての整備を行う。							
実績	平成21年度へ事業繰越							
事業費	計画	9,993千円			実績	0千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						
	特記事項	国の緊急経済対策に伴う臨時交付金を有効活用し、計画を前倒して実施した。ただし、平成21年2月に事業実施に係る費用を補正予算措置したことから、事業完了のための期間がなく平成21年度へ事業を繰り越すこととなった。						

事務事業名	八束小学校校舎整備事業				担当課	教育総務課		
概要	昭和44年に建築された老朽化の著しい八束小学校校舎を八束中学校校舎と併せ、小中一体型施設として改築することにより、耐震性の確保と教育環境の充実を図る。							
実績	実施設計							
事業費	計画	21,753千円			実績	13,921千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	鹿島中学校整備事業（継続費）				担当課	教育総務課		
概要	昭和33年度に建築された老朽化の著しい鹿島中学校校舎を改築することにより、耐震性の確保と教育環境の充実を図る。							
実績	旧校舎解体撤去							
事業費	計画	86,665千円			実績	76,577千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

事務事業名	鹿島中学校整備事業				担当課	教育総務課		
概要	昭和33年に建築された老朽化の著しい鹿島中学校校舎を改築することにより、耐震性の確保と教育環境の充実を図る。							
実績	土木工事（テニスコート・駐車場・グラウンド造成等）							
事業費	計画	83,643千円			実績	71,472千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成21年度で事業が完了予定）						

事務事業名	鹿島中学校屋内運動場整備事業（継続費）				担当課	教育総務課		
概要	昭和34年に建築された老朽化の激しい鹿島中学校屋内運動場を改築することにより、耐震性の確保と教育環境の充実を図るとともに、地域の防災拠点としての整備を行う。							
実績	改築工事（継続事業）							
事業費	計画	123,360千円			実績	120,000千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成21年度で事業が完了予定）						

事務事業名	八束中学校校舎整備事業				担当課	教育総務課		
概要	昭和40年に建築された老朽化の著しい八束中学校校舎を八束小学校校舎と併せ、小中一体型施設として改築することにより、耐震性の確保と教育環境の充実を図る。							
実績	校舎実施設計							
事業費	計画	15,562千円			実績	11,668千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	第一中学校校舎大規模改造事業				担当課	教育総務課		
概要	昭和49年に建築された老朽化の著しい第一中学校を改修することにより、耐震性の確保と教育環境の充実を図る。							
実績	老朽改修工事（5棟）							
事業費	計画	289,768千円			実績	266,142千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

事務事業名	第一中学校校舎整備事業（第2期）				担当課	教育総務課		
概要	昭和49年に建築された耐震性に欠ける第一中学校の耐震補強を行うことにより、耐震性の確保と教育環境の充実を図る。							
実績	耐震補強工事							
事業費	計画	359,597千円			実績	313,584千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

事務事業名	湖南中学校屋内運動場耐震補強事業（緊急経済対策）				担当課	教育総務課		
概要	耐震診断により耐震性が低いと判定された湖南中学校屋内運動場の耐震補強を行うことにより、耐震性の確保と教育環境の充実を図るとともに、地域の防災拠点としての整備を行う。							
実績	実施設計（平成21年度へ事業繰越）							
事業費	計画	8,310千円			実績	0千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						
特記事項	国の緊急経済対策に伴う臨時交付金を有効活用し、計画を前倒して実施した。ただし、平成21年2月に事業実施に係る費用を補正予算措置したことから、事業完了のための期間がなく平成21年度へ事業を繰り越すこととなった。							

事務事業名	鹿島給食センター整備事業				担当課	学校給食課		
概要	老朽施設の更新により、衛生管理の充実を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・旧鹿島給食センター解体・撤去 ・駐車場整備、基金造成 							
事業費	計画	33,500千円			実績	33,388千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

事務事業名	照明設備改修事業				担当課	学校管理課		
概要	小中学校の照度低下を改善し、児童生徒の教育環境の向上を図る。							
実績	来待小学校体育館照明改修							
事業費	計画	9,310千円			実績	5,670千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	3点	有効性	3点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	教育用コンピュータ整備事業（小学校）				担当課	学校管理課		
概要	「IT新改革戦略」に基づき、小学校教職員一人一台のコンピュータ端末を整備する。							
実績	小学校15校 101台整備							
事業費	計画	10,669千円			実績	10,345千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

事務事業名	教育用コンピュータ整備事業（中学校）				担当課	学校管理課		
概要	「IT新改革戦略」に基づき、中学校教職員一人一台のコンピュータ端末を整備する。							
実績	中学校6校 88台整備							
事業費	計画	9,296千円			実績	9,122千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

事務事業名	暖房設備整備事業				担当課	学校管理課		
概要	ボイラー式（地下タンク式）の暖房器具を安全できれいな温風が提供できるFF式ファンヒーターに交換し、児童の学習環境の向上を図る。							
実績	整備実施1校（鹿島東小学校）							
事業費	計画	15,769千円			実績	13,047千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	放送設備改修事業（小学校）				担当課	学校管理課		
概要	学校運営、教育活動及び災害時に支障を来さないよう、老朽化した一般放送設備、非常放送設備、体育館放送設備の改修を行う。							
実績	改修実施校：古江小学校（一般放送設備）							
事業費	計画	3,780千円			実績	2,615千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	放送設備改修事業（中学校）				担当課	学校管理課		
概要	学校運営、教育活動及び災害時に支障を来さないよう、老朽化した一般放送設備、非常放送設備、体育館放送設備の改修を行う。							
実績	改修実施校：美保関中学校（一般放送設備）							
事業費	計画	3,800千円			実績	2,803千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	第一中学校校舎整備事業〔一般備品整備〕				担当課	学校管理課		
概要	第一中学校校舎の整備にあわせ、必要な一般備品を整備する。							
実績	一般備品一式購入							
事業費	計画	39,798千円			実績	21,868千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

事務事業名	本庄小学校屋内運動場整備事業〔体育備品整備〕				担当課	学校管理課		
概要	本庄小学校屋内運動場の整備にあわせ、必要な体育備品を整備する。							
実績	体育備品一式購入							
事業費	計画	5,110千円			実績	3,117千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

事務事業名	学校体育施設整備事業				担当課	学校管理課		
概要	小中学校の老朽化した遊具の修繕・撤去・新設を行い、児童生徒の安全・安心な学習環境の維持向上を図る。							
実績	点検結果に基づく修繕実施（実施校8校）							
事業費	計画	2,200千円			実績	2,200千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	消防設備改修事業（小学校）				担当課	学校管理課		
概要	法定点検により指摘を受けた小学校の消防設備修繕・更新を行い、児童の安全・安心な教育環境を確保する。							
実績	消防設備修繕・更新23校							
事業費	計画	1,500千円			実績	1,493千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	2点	有効性	3点
	総合評価	B 事業の進め方の改善						
	特記事項	消火器の点検結果では、ほとんどの消火器について良の判定が報告されているが、一般的な消火器の対応年数は製造からおおむね8年とされているため、（消火器メーカーが提示している目安）その年数を経過している消火器については今後計画的に年次的な更新が必要である。						

事務事業名	消防設備改修事業（中学校）				担当課	学校管理課		
概要	法定点検により指摘を受けた中学校の消防設備修繕・更新を行い、生徒の安全・安心な教育環境を確保する。							
実績	消防設備修繕・更新11校							
事業費	計画	800千円			実績	754千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	2点	有効性	3点
	総合評価	B 事業の進め方の改善						
	特記事項	消火器の点検結果では、ほとんどの消火器について良の判定が報告されているが、一般的な消火器の対応年数は製造からおおむね8年とされているため、（消火器メーカーが提示している目安）その年数を経過している消火器については今後計画的に年次的な更新が必要である。						

事務事業名	受変電設備改修事業				担当課	学校管理課		
概要	電気工作物保安管理委託業者から指摘を受けた老朽化が進む受変電設備の改修を行う。							
実績	高圧受変電設備の改修：恵曇小学校							
事業費	計画	5,700千円			実績	5,723千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	学校図書館司書配置事業				担当課	学校教育課		
概要	児童生徒の読書活動や学習への支援、学校図書館を活用した教育の充実を図るため、専任の学校図書館司書を配置する。							
実績	小中学校50校のうち学校図書館司書配置校21校 (小学校：城北、津田、川津、乃木、母衣、内中原、中央、雑賀、古志原、法吉、竹矢、持田、大庭、古江、恵曇、島根、美保関、八雲、玉湯、宍道、八束)							
事業費	計画	27,604千円			実績	25,648千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	湖南中学校武道場整備事業				担当課	教育総務課		
概要	武道場整備により、柔道を体育の授業に取り入れることが可能となり、たくましい心豊かな生徒育成の場が提供できる。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計 ・新築工事 							
事業費	計画	94,565千円			実績	76,526千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

事務事業名	美保関中学校艇庫整備事業				担当課	学校管理課		
概要	中海を臨む美保関中学校において、特色ある教育の一環としてボート学習を行うための艇庫を整備する。 ボート学習では、地域の経験者と交流を深め、豊かな人間形成の構築を図る。							
実績	艇庫建設（収用ボート艇数3艇）							
事業費	計画	4,500千円			実績	3,696千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

成果	<p>【教育総務課】 学校施設の大規模改修、耐震補強等により、児童生徒の学習環境が充実し、児童生徒の安全・安心な学校生活が確保される。</p> <p>【学校管理課】 学校施設の設備改修・維持補修は、児童生徒の学習環境の向上と安全な学校生活の確保につながるとともに、施設管理面でのランニングコストの削減にもつながる。</p> <p>【学校教育課】 学校図書館司書の全校配置を完了させるとともに、学校図書館司書一人一人の力量を高める研修が必要である。</p>
課題	<p>【教育総務課】 学校施設の整備は、耐震補強を最優先に行う必要がある。 非木造施設の耐震補強は、平成25年度を目途にする。</p> <p>【学校管理課】 児童生徒の安全・安心な学校生活の確保を優先に、財政状況を勘案した上で施設整備を進める必要がある。</p>
今後の進め方	<p>【教育総務課】 大地震で倒壊の危険性の高いIs値0.3未満の施設は、平成22年度末までに耐震補強を行う。 その他の耐震補強が必要な施設は、緊急度に応じて順次耐震補強を実施し平成25年度末までに終了する。</p> <p>【学校管理課】 安全・安心な学習環境を確保するため、早急に対処が必要な老朽施設の改修や設備更新を行う。</p> <p>【学校教育課】 学校図書館司書業務に関する研修の充実と学校図書館司書担当の情報交換の場の確保に努める。</p>

学校給食事業の充実と食育の推進

事務事業名	学校家庭地域連携食育推進事業	担当課	学校給食課					
概要	国（文部科学省）から食育推進地域の指定を受け、学校・家庭・地域が連携、協力した食育の推進をはかる。							
実績	国委託事業「子どもの健康を育む総合食育推進事業」の実施：八雲地区							
事業費	計画	2,000千円	実績	903千円				
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	地域食育推進事業	担当課	学校給食課					
概要	学校給食を活きた教材として、児童・生徒が食農体験等で手がけた野菜等について給食食材として活用し、学校では学習等との連携を図り食指導に活かす。 また、給食堆肥リサイクル野菜栽培農家等との連携を図り、教育的付加価値のある地産地消を進める。							
実績	地域食育推進組織の設置4箇所 (設置センター：南、八雲、鹿島、島根)							
事業費	計画	1,000千円	実績	993千円				
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

成果	
【学校給食課】 地域農家と子供たちが一緒に栽培した野菜を学校給食に使用する「給食センター1品運動」や保護者・親子が対象の調理講習会などを通じ、「大事に作られた地元の食材をありがたいたたく」という気持ちが少しずつ子供たちに伝わりつつある。	
課題	
【学校給食課】 子どもたちの食育体験活動等を受け入れる農・漁業者等の協力体制の確立が必要である。	
今後の進め方	
【学校給食課】 学校家庭地域連携食育推進事業は、平成21年度に向け、学校との連携・協力体制を整える。 地域食育推進事業は、食育推進組織に地域の農・漁業者を加え、具体的な活動の検討を行い、協力を得る。	

生涯学習の推進

事務事業名	放課後子ども教室事業				担当課	教育総務課		
概要	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の大人の参画を得て、子どもたちが安全で安心できる活動拠点（居場所）を開設し、自主的、主体的に活動できるように支援する。 また、豊かな体験、地域の方や異年齢児童との交流の場とする。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度を目途に全小学校区（34校）で実施するために未開設地区へ順次開設 新規開設2校区（鹿島東小学校、長江小学校） （平成20年度末：16校区＋フリーダス1教室の17教室開設） 							
事業費	計画	31,352千円			実績	25,272千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	ふるさと教育推進事業				担当課	生涯学習課		
概要	「ひと・もの・こと」の地域資源を活かした教育活動を通して、学校・家庭・地域が一体となった体系的な教育活動を推進する。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> 市内全小中学校で年間35時間以上のふるさと教育の実施 学校と公民館が連携した教育活動の推進 教職員に対する研修の実施（全体研修2回延べ39人参加） 各学校で地域の歴史研修（4箇所延べ80人参加） 							
事業費	計画	5,200千円			実績	5,200千円		
評価	必要性	4点	効率性	2点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	C 事業の実施主体やコストの改善						
	特記事項	地域ボランティアを発掘するだけでなく、育成し、より一層活用することが求められるとともに、委託期間終了後の事業展開を考え、他事業との調整によりコストの見直しを行う必要がある。						

成果	<p>【教育総務課】 放課後子ども教室を2校区新設し、放課後や週末の子どもたちの安全・安心な居場所づくりに努めた。</p> <p>【生涯学習課】 地域の人材を活かした取り組みが増え、地域の活性化につながるふるさと教育を進めることができた。</p>
課題	<p>【教育総務課】 平成23年度までに全小学校区で開設する計画であり、未開設校区での調整や地域で子どもを育むという機運を高める必要がある。</p> <p>【生涯学習課】 平成23年度から県補助金がなくなるため、無償で協力していただける講師・ボランティア等の確保、リスト作りを進める必要がある。</p>
今後の進め方	<p>【教育総務課】 未開設校区で、子どもたちの放課後の現状を話し合う機会を設定しながら、それぞれの校区の実情に合った放課後対策を検討する。</p> <p>【生涯学習課】 ボランティアの確保、紹介だけでなく、公民館地域行事との融合を図ったふるさと教育を推進する。</p>

公民館の整備と機能充実

事務事業名	雑賀公民館建設事業				担当課	生涯学習課		
概要	狭隘かつ老朽化する雑賀公民館を解体・新築し、利便性の向上と活動の活性化を図る。							
実績	解体・建設工事、施設備品整備等							
事業費	計画	235,888千円			実績	207,803千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

成果	<p>【生涯学習課】 特色を活かした地域づくりのための活動拠点として活用するほか、地域防災活動の拠点施設としても重要な役割を果たす。</p>
課題	<p>【生涯学習課】 公民館の老朽化に伴い改修・改築の必要が生じている。特に旧耐震基準で建設された公民館は、耐震診断調査を行い、必要な補強改修等を行う必要がある。</p>
今後の進め方	<p>【生涯学習課】 危険性、緊急性を考慮し、基本的には古いものから順次整備を進める。</p>

図書館をはじめとする生涯学習関連施設の機能充実

事務事業名	図書館ネットワーク推進事業				担当課	生涯学習課		
概要	平成18年度に策定した「新・松江市図書館ネットワーク整備プラン」に基づき、松江市全域に良質な図書館サービスを提供する。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館から遠隔地域への配本サービス実施 70箇所（延638回 28,677冊貸出） ・幼、保、小へのおはなし出前サービス実施 26箇所（延94回 延245名派遣 聞き手延4,917名） 							
事業費	計画	613千円			実績	456千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	移動図書館（ブックモバイル）運営事業				担当課	生涯学習課		
概要	平成18年度に策定した「新・松江市図書館ネットワーク整備プラン」に基づき、松江市全域に良質な図書館サービスを提供する。							
実績	・移動図書館車による図書館サービス78箇所巡回（延730人利用 14,342冊貸出）							
事業費	計画	19,900千円			実績	17,240千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	島根図書館運営事業				担当課	生涯学習課		
概要	拡大した市域全体の中で、地域館として図書館サービスの充実を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年6月開館 ・運営を財団法人松江市教育文化振興事業団へ委託 ・蔵書数12,082冊 ・貸出数16,204冊 							
事業費	計画	3,988千円			実績	4,015千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	松江市立図書館整備事業				担当課	生涯学習課		
概要	昭和61年開館以来、20年以上経過した設備・備品等の故障、不具合に対応する。							
実績	じゅうたん貼替（3カ年計画の初年度）							
事業費	平成19年6月	2,320千円			実績	1,906千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

成果	
【生涯学習課】 地域館の新規オープンや移動図書館（ブックモバイル）の運行開始により、図書館サービスを受ける市民・地域の対象範囲が拡大した。	
課題	
【生涯学習課】 中央図書館の蔵書収容能力は限界を超えており、全市をカバーする図書館サービスの検討が必要である。 図書館と学校間の配本システムの検討や学校間の検索システムの構築が課題である。	
今後の進め方	
【生涯学習課】 全市に図書館サービスをきめ細かく提供するため、引き続きネットワークの構築を推進する。	

青少年の育成

事務事業名	青少年支援センター運営事業				担当課	生涯学習課		
概要	青少年の非行や問題行動の防止・抑制及び改善のため、電話・面接等による相談活動、街頭補導指導、有害図書などの回収を行う。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> 電話、面接等による相談1,403件 就労、学習支援等の支援業務44件 パトロール171回、見守り活動182回、不審者侵入対応訓練48回 							
事業費	計画	2,847千円			実績	2,579千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	青少年支援センター指導員設置事業				担当課	生涯学習課		
概要	「子ども支援センター事業」として島根県から委託を受けて青少年支援センターを運営するために、警察OBや教員OBの所長、指導員を雇用し、ケースに対応する。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> 所長1名、指導員4名配置 開設日数256日 指導員勤務延人数974人 							
事業費	計画	12,190千円			実績	12,026千円		
評価	必要性	4点	効率性	2点	達成度	3点	有効性	3点
	総合評価	C 事業の実施主体やコストの改善						
	特記事項	<p>当初3カ年のモデル事業として県から委託を受けて実施したこの事業も、年々相談件数が増え続け、当該事業の必要性を県知事要望等で訴えることにより6年目を迎えている一方で、平成19年度に県からの委託費が大幅に削減され、現在では平成16年度委託費の半額以下となっている。</p> <p>昨年、県から広域連携の要請があり、隠岐・安来・東出雲などの相談にも対応することになったにもかかわらず、委託料については平成19年度からほぼ横ばいのまま変わっていない。この流動的な県からの委託料を、見直す余地が十分あることから効率性を2点とした。</p> <p>「子ども支援センター事業」も当初の事業終了年度から3年が経過しており、県の財政状況を勘案しても単年度ごとの成果によりいつ委託を打ち切りになってもおかしくない不安定な状況となっていることから、県にこの事業の必要性を認識してもらい、安定的な財源の確保に努めることが必要と思われる。</p>						

成果	<p>【生涯学習課】 昨年からの経済不況も影響し、仕事が長続きしない若者、高校を中退する若者が増えており、様々な問題を抱える青少年の相談業務、就労・学習支援の実施が青少年の健全育成に貢献している。</p>
課題	<p>【生涯学習課】 当初は主に中学生を対象に取り組んでいたが、事業の認知度が高まるにつれて、高校生、無職少年、成人の相談・支援件数も増加している。 また、昨年から安来、東出雲、隠岐地区が相談対象区域となり、今後はより広域的な活動が必要である。 事業開始当初は、子ども対応の大半を支援ボランティアに依頼することとしていたが、困難な事例が多く、支援ボランティアの協力を得つつもセンター職員の継続的かつ能動的な支援活動が必要である。</p>
今後の進め方	<p>【生涯学習課】 平成20年度から内閣府モデル事業（地域における若者支援のための体制整備モデル事業）を実施しており、平成21年度も継続して事業を行う。 この事業を通じ、相談員の資質向上はもとより、青少年の問題への早期対応と、継続的な支援を教育・福祉・司法・雇用・保健の各機関と連携して行うための体制整備を目指す。</p>

人権施策の推進

事務事業名	学校人権・同和教育推進事業				担当課	人権同和教育課		
概要	各校・園で、地域や学校の実情に即した人権・同和教育を効果的に進めることにより、子どもたちの人権意識を高め、差別をなくす実践力を培う。 また、授業研究や各種研修会を通して、教職員の指導力を高める。							
実績	教職員対象講演会1回、転入・採用・新規教職員研修4回、幼稚園教員研修1回、人権・同和教育主任研修2回、指定校・園発表会5回、県外視察研修2回、学力促進学級主担当者研修20回							
事業費	計画	3,757千円			実績	3,367千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	社会人権・同和教育推進事業				担当課	人権同和教育課		
概要	市内各地域で人権・同和問題解決に取り組んでいる地域人権・同和教育推進協議会や活動する市民グループの会員の研修や連携を図りながら、地域活動を活性化させ、市民一人一人の人権意識の高揚を図る。							
実績	研修会21回、参加者1,122人							
事業費	計画	6,405千円			実績	6,180千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	市民グループ実践活動事業				担当課	人権同和教育課		
概要	自ら学び実践しようとする人々の活動を支援し、市民全体の自主的な学習意欲を高め、差別に対する正しい理解と認識を深め、人権意識の高いまちづくりを進める。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> 各市民グループが自主的に地域で行う学習・啓発・交流活動への支援 グループ協議会所属の市内22グループへの補助金交付 							
事業費	計画	2,420千円			実績	2,420千円		
評価	必要性	4点	効率性	2点	達成度	3点	有効性	4点
	総合評価	C 事業の実施主体やコストの改善						
	特記事項	<p>現在、活動する市民グループ協議会の事務局業務は当課が行っているが、このことにより、事業内容等を決定する際など、当課に頼ることが多く、会員の協議会に対する関心や意識も今一步の状況にある。</p> <p>現在当課で担当している協議会の事務局業務を協議会に移行することにより、課員の業務量の軽減化と協議会の事務効率化を図っていく必要がある。</p> <p>しかし、現段階では協議会の役員が高齢化しており、また、この協議会以外にも多くの役職を兼務していることが多く、事務局業務を担当することを負担と感じているようである。</p> <p>今後は協議会に事務局を段階的に移行することにより、会員の協議会に対する意識や関心を高め、協議会の運営を主体的なものにしていく。</p>						

事務事業名	人権講演会開催事業				担当課	人権同和教育課		
概要	公民館ブロック単位で年間5つのテーマで人権講演会を開催する。その内の一つのテーマは、松江開府400年にあわせ、松江藩の産業とそれを支えた人々についての講演を行う。							
実績	<p>松東ブロック：人権講演会in寺子屋（歴史の中の同和問題）、中央ブロック：外国人差別、松北ブロック：現在の人権・同和教育の状況から人権・同和問題を考える、松南ブロック：性にかかわる差別、湖南ブロック：子どもの人権</p> <p>5ブロック参加者合計233人</p>							
事業費	計画	55千円			実績	23千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	市民啓発事業				担当課	人権同和教育課		
概要	広く市民に市報を利用した啓発活動を行うことにより、市民一人一人に人権・同和問題を考える機会を提供し、人権意識の高いまちづくりを進める。							
実績	「市報まつえ3月号」への人権特集記事掲載							
事業費	計画	403千円			実績	402千円		
評価	必要性	4点	効率性	3点	達成度	4点	有効性	3点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

成果	<p>【人権同和教育課】 学校では、人権・同和教育に関する授業内容の充実が図られ、効果的な教職員研修等も実施されている。 また、地域では、本市主催の講演会・研修会への参加者が、各地域へ戻り、講師となって同様の研修を開催するなど、人権問題に関する地域的な活動が拡大している。</p>
課題	<p>【人権同和教育課】 地域や学校・園の実状に即した人権・同和教育の取組が行われ、普及が図られてきた。 今回、義務教育9ヵ年を見通した「小中一貫教育」を推進していく中で、指導内容・方法等の一貫性のある小中学校教職員の共同指導体制を構築し、人権・同和教育のより一層の指導の充実を図るため、現行事業の見直しや新たな取組を模索しながら、学校・幼稚園・地域に対する支援を行っていく必要がある。</p>
今後の進め方	<p>【人権同和教育課】 学校において、子どもや教職員の人権意識を上げていくために、学校・幼稚園に対する指導助言、研修機会の確保と情報提供を積極的に行う。 人権・同和教育活動推進校・園並びに小中一貫活動助成による学校の実状に応じた研修会の実施といった新たな事業に取り組み、市内の学校・幼稚園に対してその効果の波及を図る。 中学校区内の学校・地域が連携した人権・同和教育を推進する。 地域において、あらゆる人権課題をテーマとした研修会の実施や、講師紹介、研修施設等の情報提供により、地域全体が取り組める環境を作っていく。 研修会参加者が固定化されており、効果を高めるために参加者の幅を広げるよう努める必要がある。週休日の研修会実施など、研修会参加者の固定化への対策を図る。</p>

指定文化財の保存・活用

事務事業名	乙部家等古文書調査事業				担当課	文化財課		
概要	旧松江藩の実態を解明するうえで貴重な史料を調査し、その成果を教育現場や歴史資料館において活用する。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・史料の所在確認調査・概要調査 ・調査史料件数 目標20件 実績14件 ・目録作成史料件数 目標20件 実績14件 							
事業費	計画	3,192千円			実績	3,200千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	2点	有効性	2点
	総合評価	B 事業の進め方の改善（平成21年度で事業が完了予定）						
	特記事項	<p>目標とした古文書調査件数に対し、1件あたりの調査量が予想以上に多く、相対的に調査件数が少なくなった。全体の調査量は目標通り。</p> <p>目標とした古文書目録作成件数に対し、1件あたりの作成内容が予想以上に多く、相対的に目録作成件数が少なくなった。全体の作成量は目標通り。</p>						

事務事業名	新松江市史編纂事業				担当課	文化財課		
概要	資料の散逸を防ぎ、次世代へ資料を引き継ぐ。松江市の歴史を再検証し、未来の松江市を展望する。							
実績	松江市史編纂基本計画の策定							
事業費	計画	7,666千円			実績	4,473千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	松江郷土館保存修理事業				担当課	文化財課		
概要	興雲閣は、完成から100年が経ち、老朽化が進み改修が必要。 現在、県の有形文化財だが、重要文化財指定に向けての改修が必要である。修理・復原の方針を決定し、今後の活用策について検討し、修理・復元、耐震工事を行う。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・修理復原概算設計作成 ・基本計画策定 ・復原時期の確定 ・検討委員会3回開催 							
事業費	計画	1,659千円			実績	1,789千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	県指定建造物月照寺廟門保存修理事業				担当課	文化財課		
概要	平成20年度は県指定文化財高真院（松平直政）廟門を修復し、平成21年度は県指定文化財大圓庵（松平治郷）廟門について、腐朽・建物の捻れ、破損が著しいため修復し、保護処置を講じ、その修理費に対し文化財所有者に補助金を交付するもの。							
実績	補助金交付							
事業費	計画	5,000千円			実績	7,540千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成21年度で事業が完了予定）						

成果	
【文化財課】	文化財保存に係るソフト事業は、史料に裏打ちされた歴史を背景に、様々な観光施策を展開できる。また、ハード事業は、市民の財産の適切な保護・保存はもとより、観光資源の保護に貢献している。
課題	
【文化財課】	文化財保存に係る多岐にわたるハード事業を同時に実施する必要がある中、文化財保護の普及推進などソフト事業の充実も必要である。
今後の進め方	
【文化財課】	市史編纂においては、各種委員会・部会を設置するなど、本格的な市史編纂体制を構築し、事業の円滑な遂行に努める。 また、松江郷土館（興雲閣）の活用・運営方法について、市民意見を取り入れた検討を行う。

埋蔵文化財の保存・整備

事務事業名	史跡松江城整備事業				担当課	文化財課		
概要	松江市のシンボルである史跡松江城の崩壊の危険性のある石垣について、危険性が高い箇所から年次的に保存修理等を実施するもの。 また、工事に必要となる石垣の写真図化や発掘調査についても行うもの。							
実績	平成19年度に引き続き二之丸下ノ段東側堀石垣の修理工事を実施。							
事業費	計画	22,840千円			実績	22,695千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	史跡出雲玉作跡（宮ノ上地区）整備事業				担当課	文化財課		
概要	平成18年度の発掘調査により、史跡出雲玉作跡（宮ノ上地区）で発掘された玉造御茶屋跡（松江藩主休憩所）を活用するために整備するもの。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・整備検討委員会の開催 ・地形測量の実施 ・発掘調査報告書の刊行 							
事業費	計画	2,050千円			実績	2,316千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	埋蔵文化財調査事業				担当課	文化財課		
概要	松江市内の埋蔵文化財の分布調査及び試掘調査を実施し、遺跡の有無の把握を行うもの。 試掘調査の結果、遺跡が発見された箇所について、工事の前に発掘調査を行い、記録保存の措置を取るもの。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・試掘調査件数88件（文化財課直営） ・発掘調査件数13件（財団法人松江市教育文化振興事業団へ委託） 							
事業費	計画	147,844千円			実績	114,466千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	2点	有効性	3点
	総合評価	B 事業の進め方の改善						
	特記事項	平成20年度は年間150件の試掘調査を見込んでいたが、調査依頼件数が減少したため試掘調査件数も減少した。 携帯電話鉄塔工事など範囲の狭小なものは工事立会で対応した。 試掘調査実績の蓄積により、試掘調査の対象外とするエリアが広がり、分布調査だけで終了した。 埋蔵文化財調査事業について、平成20年度試掘調査件数は減少したが、逆に立会調査件数や本調査件数、分布調査件数は激増しており、今後はそれらも実績数に加えるようにしたい。						

成果	
【文化財課】	国際文化観光都市として史跡整備を行うことで、観光客誘致など賑わい創出につながる。
課題	
【文化財課】	松江城の石垣の広範囲な修理が続くと、江戸時代に積まれた石垣が見られなくなる恐れがある。そのため、崩落の危険性がある部分の最小限の修理が必要だが、その判断が難しい。 また、崩壊の危険性の高い順に修復工事をする必要があるが、その判断も慎重を要する。
今後の進め方	
【文化財課】	松江城の石垣修理について、文化庁や整備検討委員会の意見を聞きながら、継続的に事業の推進を図る。 また、一方では、関係機関と連携し、石垣の損壊要因を出来るだけ排除し、江戸時代そのままの石垣の保存についても検討する。

スポーツ振興

事務事業名	スポーツ少年団育成事業				担当課	スポーツ課		
概要	一人でも多くの子供たちがスポーツの喜びを知り、スポーツを通して健全な心とからだを育てるとともに、競技力の向上を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> 登録団数 33団体 姉妹都市宝塚市との交歓会を松江市で開催（松江市団員60名参加） 親子運動会開催 種目別交歓会開催 							
事業費	計画	3,032千円			実績	2,947千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	3点	有効性	3点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	市民体育祭開催事業				担当課	スポーツ課		
概要	スポーツ都市宣言（スポーツを通して健康な心とからだをつくり、明るく豊かな松江市を築く）を達成するため、地域住民のスポーツ要求に沿った各種大会を開催し、地域間交流と地域の親睦を図る。							
実績	ソフトボール、バレーボール、卓球の3種目を開催（参加者1,446人）							
事業費	計画	886千円			実績	871千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	市民体育祭大運動会開催事業				担当課	スポーツ課		
概要	幅広い年代の地域住民が一堂に会し、地域の代表として競技に参加し、また地域を挙げて応援することで、市民がスポーツに親しみ、地域の親睦を図る。							
実績	運動会開催（参加体協28団体、参加者3,000人）（隔年開催）							
事業費	計画	5,000千円			実績	4,995千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	マラソン交流事業				担当課	スポーツ課		
概要	中国杭州市とのスポーツ交流を通じて、市民同士の友好と相互理解の促進を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> 西湖ふれあいウォーキング大会選手派遣（選手5名：うち松江市民ランナー3名） まつえレディースマラソン選手招聘（杭州市選手団5名） 							
事業費	計画	1,797千円			実績	1,667千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	まつえレディースハーフマラソン事業				担当課	スポーツ課		
概要	一流選手とともに走り、自分の能力に応じた種目に参加し、スポーツの振興と体力の増進を図る。 また、マラソンを生中継し、レースをリアルタイムに伝えるとともに、マラソンコースを通して松江市の情報発信を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーフマラソン（女子）、健康マラソン（女子10km）、ジョギング（小学生以上男女2.5km） ・参加者1,609人、招待選手3名 ・生中継視聴率 9.1 % 							
事業費	計画	18,000千円			実績	18,000千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	日本学生女子ハーフマラソン大会開催事業				担当課	スポーツ課		
概要	まつえレディースマラソンと併催で選手権大会を誘致し、本市の陸上競技力の向上と親交を図るとともに、全国的に松江市の情報発信を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・まつえレディースハーフマラソンと併催でユニバーシアード選考会を開催（隔年開催） ・参加者62名 ・まつえレディースハーフマラソンに参加した選手から4名がユニバーシアードに選出。（ユニバーシアード結果：ハーフマラソン1位、2位、3位、10,000m4位入賞） 							
事業費	計画	5,000千円			実績	5,000千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	松江玉造ハーフマラソン開催事業				担当課	スポーツ課		
概要	フルマラソンをハーフマラソンに変更して開催し、参加者の増員と競技力の向上及び普及を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・関門通過の制限時間を緩和しハーフマラソンを実施 ・参加者387人 							
事業費	計画	3,400千円			実績	3,400千円		
評価	必要性	3点	効率性	4点	達成度	2点	有効性	2点
	総合評価	B 事業の進め方の改善						
	特記事項	近年の気象状況により開催時期の気温が高いため、同時期に北海道で開催されるマラソンに参加する選手が多く、招待選手や実業団選手等の来松が難しい。						

事務事業名	姉妹都市・都市間交流事業				担当課	スポーツ課		
概要	姉妹都市宝塚市と都市間スポーツ交流を行い、スポーツの振興を図る。							
実績	松江市選手団の宝塚市訪問（参加者 宝塚市102名、松江市82名）							
事業費	計画	1,035千円			実績	1,035千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	晋州市スポーツ交流事業				担当課	スポーツ課		
概要	友好都市である韓国晋州市とスポーツを通して友好を深めるため交互訪問する。							
実績	晋州市（韓国）との協議により平成20年度については事業中止							
事業費	計画	2,739千円			実績	0千円		
評価	必要性	3点	効率性	4点	達成度	1点	有効性	1点
	総合評価	B 事業の進め方の改善						

事務事業名	スポーツ振興審議会活動事業				担当課	スポーツ課		
概要	松江市のスポーツ振興に関する重要事項について調査、審議、建議する。							
実績	松江市スポーツ振興計画を策定し、計画の周知を図った。							
事業費	計画	234千円			実績	315千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	1点	有効性	4点
	総合評価	B 事業の進め方の改善						
	特記事項	平成20年3月に策定した松江市スポーツ振興計画について、平成20年度は印刷・製本し周知を図ったが、その進捗状況について審議会への報告ができなかった。						

事務事業名	全国中学校柔道大会選手強化事業				担当課	学校教育課		
概要	平成22年度の全国中学校体育大会柔道松江大会の開催市として、選手の育成強化と競技力の向上を図る。							
実績	松江市中学校体育連盟に対し選手強化事業に係る補助金を交付							
事業費	計画	1,500千円			実績	1,500千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成21年で事業が完了予定）						

事務事業名	北京オリンピック事前合宿事業				担当課	スポーツ課		
概要	北京オリンピックに出場するアイルランド陸上選手団が松江市で事前合宿することから、市民一丸となってチームをサポートするとともに、選手と市民の交流を通じて、アイルランドとの市民交流の発展を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・アイルランド選手団31名（選手17名：100mハドル1名、競歩4名、1500 / 5000m1名、200m1名、400m3名、800m1名、マラソン2名、3000m障害2名、ハム1名、トライアثل1名、コーチ等14名） ・スペイン選手団2名（選手1名、コーチ1名） ・入賞者3名 							
事業費	計画	10,000千円			実績	7,254千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成20年度で事業が完了）						

成果	<p>【スポーツ課】 子どもがスポーツに親しむ機会が学校体育から社会体育へと移行が進む中、スポーツ少年団への活動助成を行うことにより、登録団体（団員）数の増加に貢献している。 他市、他国、市民同士のスポーツ交流では、交流先や交流相手との友好関係が深まり、スポーツ振興に加えて経済・観光・国際交流の発展にも貢献している。 市民の関心の高いスポーツイベントを開催することで、スポーツへの関心の向上に貢献している。</p>
課題	<p>【スポーツ課】 松江市では、スポーツ活動に参加しない児童が4割、また、4人に1人はスポーツ活動、文化活動ともに参加していない状況にある。 生涯スポーツ社会実現のため、子ども自身がスポーツの楽しさを発見し、進んで参加できる環境づくりが必要である。 現在、スポーツをしていない人に対し、スポーツという括りだけでなく、健康維持のための運動の普及を行うなど、健康・福祉部門との連携をとることが必要である。</p>
今後の進め方	<p>【スポーツ課】 児童の放課後の活動に関する実態調査を行い、地域の特色を活かしたスポーツに親しむ機会や、取り組み充実の支援を行う。</p>

スポーツ施設の充実

事務事業名	市営体育施設維持管理事業				担当課	スポーツ課		
概要	施設の老朽化や施設利用者の多様化に対応するため、施設・設備の充実を図る。							
実績	松江市総合体育館ほか9箇所改修、15箇所修繕							
事業費	計画	7,293千円			実績	8,142千円		
評価	必要性	3点	効率性	4点	達成度	2点	有効性	3点
	総合評価	B 事業の進め方の改善						
	特記事項	設備の故障等による高額な突発修繕が多かったため、予定していた修繕のうち実施できない箇所があった。						

事務事業名	市営体育施設改修事業				担当課	スポーツ課		
概要	老朽化の進んだ施設の大規模修繕を行い、施設・設備の充実を図る。							
実績	松江市総合体育館ほか12箇所改修							
事業費	計画	23,425千円			実績	21,084千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	3点	有効性	3点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

成果	
【スポーツ課】 建て替えが難しい施設の機能維持が、市民のスポーツに親しむ機会の継続的な提供につながっている。	
課題	
【スポーツ課】 多くの施設が老朽化しており、すべての施設について本来機能を維持させることは難しいことから、各施設の今後のあり方を明確にしたうえで、必要な改修・修繕を行う必要がある。 さらに、松江市総合体育館や陸上競技場など中核施設となるべき施設は、別途改築も含めた計画を策定する必要がある。	
今後の進め方	
【スポーツ課】 平成21年度中に各施設を規模ごとに整理し、施設の定期点検を実施する。そのうえで、各施設の今後の改修計画を定め、平成22年度から順次実施する。 中核施設となるべき松江市総合体育館を今後改築又は大規模改修することを前提に、平成21年度に市内部委員会を組織する。 また、陸上競技場について、今後の1種公認競技場として継続に関する判断を平成21年度中に決定し、改修計画を立て、平成22年度以降計画に沿った改修等を実施する。	

保育サービス等の充実

事務事業名	児童クラブ施設整備事業				担当課	教育総務課		
概要	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、適当な遊び場及び生活の場を提供して健全な育成を図る。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> 大規模児童クラブの分割に伴う施設整備：乃木児童クラブ、城西児童クラブ 新規開設のための施設整備：美保関児童クラブ 							
事業費	計画	656千円			実績	4,936千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	城北児童クラブ整備事業（継続費）				担当課	教育総務課		
概要	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、適当な遊び場及び生活の場を提供して健全な育成を図る。 城北小学校の改築整備に併せ、改築校舎内に児童クラブ室を一体的に整備する。							
実績	建築工事							
事業費	計画	11,048千円			実績	4,473千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成21年度で事業が完了予定）						

事務事業名	津田児童クラブ整備事業				担当課	教育総務課		
概要	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、適当な遊び場及び生活の場を提供して健全な育成を図る。 津田小学校の改築整備に併せ、改築校舎内に児童クラブ室を一体的に整備する。							
実績	基本・実施設計							
事業費	計画	2,909千円			実績	489千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	八束児童クラブ整備事業				担当課	教育総務課		
概要	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、適当な遊び場及び生活の場を提供して健全な育成を図る。 八束小学校の改築整備に併せ、校舎内に児童クラブ室を一体的に整備する。							
実績	実施設計							
事業費	計画	656千円			実績	582千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	4点	有効性	4点
	総合評価	A 概ね適切に執行						

事務事業名	朝酌児童クラブ整備事業（緊急経済対策）				担当課	教育総務課		
概要	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、適当な遊び場及び生活の場を提供して健全な育成を図る。 朝酌小学校敷地内に朝酌児童クラブを整備する。							
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・建設場所の決定 ・平成21年度へ事業繰越 							
事業費	計画	17,845千円			実績	0千円		
評価	必要性	4点	効率性	4点	達成度	1点	有効性	3点
	総合評価	A 概ね適切に執行（平成21年度に事業が完了予定）						
	特記事項	国の緊急経済対策に伴う臨時交付金を有効活用し、計画を前倒して実施した。ただし、平成21年2月に事業実施に係る費用を補正予算措置したことから、事業完了のための期間がなく平成21年度へ事業を繰り越すこととなった。						

成果	【教育総務課】 仕事などの都合により、保護者が昼間家庭にいない小学校低学年の児童にとっての遊び場と居場所を提供するとともに、保護者の就労支援にも貢献している。
課題	【教育総務課】 年々利用希望者が増加の傾向にあり、クラブによっては待機児童が発生している。
今後の進め方	【教育総務課】 適正規模で安全に運営できるよう、施設の整備を図るとともに、児童クラブ指導員の資質向上を図るための研修を引き続き実施していく。

安定した雇用の維持・創出

事務事業名	地元専修学校就学支援事業	担当課	教育総務課
概要	松江市内の専門学校への入学及び卒業後の地元企業への就職強化を図り、若者の本市定住を促進する。		
実績	広報宣伝事業の実施（市内専門学校説明会） 対象：高等学校教諭 日時：H21.2.17（火）13:30～16:30 場所：松江テルサ中会議室		
事業費	計画	2,733千円	実績 39千円
評価	必要性	3点	効率性 4点
	達成度	2点	有効性 2点
	総合評価	B 事業の進め方の改善	
特記事項	県東部の高等学校へ参加者2名程度として案内したが、各校の事情により参加者1名とする学校が多く、目標参加者の50名を下回った。しかし、中には1校から複数名が参加する積極的な学校も見られた。 専門学校入学支援コーディネーター1名を配置する予定であったが、適任者が確保できなかったため翌年度に見送った。		

成果	【教育総務課】 松江市、安来市、出雲市、雲南市にある高等学校の教員（主に進路指導担当）対象に、初めて地元専門学校説明会を開催し、50人程度の目標に対し26名の参加があり、地元専門学校が持つ魅力について広く情報発信ができた。
課題	【教育総務課】 松江市教育委員会が単独で市内専門学校と連携した事業展開を図るとともに、地元企業への就労支援を行っている島根県、商工団体等とも連携して事業を行う必要がある。 専門学校を志望する生徒・保護者の意識調査、高等学校・専門学校・地元企業の実態把握が不十分であり、効果的な事業を検討・実施するために情報収集が必要である。
今後の進め方	【教育総務課】 平成21年4月に専門学校入学支援コーディネーター1名を教育委員会に配置しており、関係機関との連携や情報収集に努め、若者の本市定住を促進する効果的な事業実施を目指す。

松江市教育委員会の自己点検・評価

2 平成20年度松江市教育委員会の自己点検・評価〔総合評価〕

「(1) 教育委員会の活動」の評価結果

(単位：項目)

年度	評価	a	b	c	d
平成20年度		3	6	1	0
平成19年度		3	5	2	0

【評価指標】

- a 優れている
- b やや優れている
- c やや劣っている
- d 劣っている

【評価概要】

委員協議会を開催し、本市教育行政のあり方や教育関係事業の進むべき方向性について、委員と事務局、委員間で意見交換を行い、教育委員会と事務局との連携強化を図った。

平成20年度で小中学校すべての訪問を終え、学校現場が抱える問題を把握し、教職員と教育環境に関する意見交換を行った。その一方、社会教育施設など所管施設への訪問回数は、学校現場に比べ少なく、平成21年度以降、公民館施設から順次計画的に訪問する予定である。

「(2) 教育委員会が管理・執行する事務」の評価結果

(単位：項目)

年度	評価	a	b	c	d
平成20年度		1	5	0	0
平成19年度		1	4	1	0

【評価指標】

- a 優れている
- b やや優れている
- c やや劣っている
- d 劣っている

【評価概要】

教育委員会の権限に属するすべての事務について自己点検・評価を行った。

点検・評価にあたっては、有識者委員からも意見を受けながら、教育に関する事務管理と執行の基本的な方針に関する改善点や課題の抽出を行った。

なお、実績のないもの及び評価に適さないものは、評価を行っていない。

「(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」の評価結果

(単位：事業、%)

年度	評価	A	B	C	D	E
平成20年度		83 (85.6)	10 (10.3)	4 (4.1)	0 (0.0)	()
平成19年度		47 (68.1)	4 (5.8)	1 (1.5)	0 (0.0)	17 (24.6)

【評価指標】

- A 概ね適切に執行
- B 事業の進め方の改善
- C 事業の実施主体やコストの改善
- D 事業の廃止・休止を検討

(注)平成19年度事務事業の点検・評価で使用した「指標E」は、当年度で事業が完了又は次年度で事業が完了予定を表すものであり、評価指標としては適切でないことから廃止し、A～Dの4指標により評価を行った。

【評価概要】

概ね適切に執行した(A評価)とする事務事業の割合は、平成19年度の事務事業に比べ増加した。

その一方、事業の進め方の改善(B評価)、事業の実施主体やコストの改善(C評価)とする事務事業の割合も増えているため、事務事業が抱える問題を調査し、改善を図ったうえで、適正かつ効率的な事務事業の執行に努めていく。

以上、教育委員会に係る基本的な活動及び事務、また、予算を伴う具体個別の事業について、概ね良好に実施・遂行されたものと評価している。

今後、教育委員会が果たす役割はますます重要なものとなっていくことから、事務局との連携強化を図り、正確な情報を迅速に把握し、委員会会議での十分な議論のもとに的確な判断と指示を行っていく必要がある。

点検・評価に関する有識者委員の意見

「平成20年度松江市教育委員会点検・評価報告書」について

氏名 多々納 道子

1 松江市教育委員会の自己点検・評価について

(1) 教育委員会の活動

教育委員会の活動は、そのほとんどがよくなされていると思われる。それを評価する際に、文部科学省の「教育委員会の現状に関する調査（平成18年度）」結果と相対的に比較してある。したがって、教育委員会会議の傍聴者が平成19年度に比べてほぼ半減しているのに、評価は「やや優れている」と同じような評価になっている。評価方法の改善を望む。

評価を実施してみて、教育委員会会議の公開、保護者や地域住民への情報発信に関する項目のさらなる活性化を期待したい。

(2) 教育委員会が管理・執行する事務

中項目と小項目に対する実績をみると、総じて積極的に取り組まれており、評価と適正な評価が行われていた。

(3) 管理・執行を教育長に委任する事務

この事業の評価は、行政評価と同様の手法によって評価されており、他の分野と事業の進め方について比較検討できるという利点はある。ただ、この評価の目的が、報告書を議会にだすだけでなく、市民への説明責任を一層果たすという点からみると、実際に取り組まれていることとその評価がわかりにくいものとなっている。昨年度も指摘したが、教育活動の評価方法について検討してほしい。

2 点検・評価の手法について

法律が改正され教育委員会の権限に属する事務のすべてにおいて、その管理・執行状況の点検・評価を行うようになって、本年度で2回目である。この2回の点検・評価を担当した。点検・評価をするにあたって、教育委員会の仕事について、詳細な説明を受けた。説明を受けて、教育委員会は小・中一貫教育を柱に据えて、子どもたちに確かな学力や豊かな人間性を育む教育力日本一をめざす取り組みを積極的に展開していることが理解できた。しかし、教育の営みを評価することはごく新しいことなので、方法的に確立していなくて難しい面が多々ある。

2回点検・評価を実施した振り返りをもとに、点検・評価の手法そのものについて、適切にできるように検討していただきたい。

今回はまえがきにおいて、教育委員会全体の取り組みについての特色が記されという工夫が行われたので、理解しやすくなった。

1 松江市教育委員会の自己点検・評価について

(1) 教育委員会の活動

全体に評価項目がピントはずれな感じがする。例えば教育委員会の開催回数は少ないより多い方がいいに決まっているが、問題はその中身であろう。学校、施設訪問しかり。

市長との意見交換が、学校長、園長合同会議で懇談の場を持っただけというのはどうだろうか。意見交換を行っていない市町村教委が70%近くあるからといって、懇談の場を持っただけでやや優れているのだろうか。せめて月1回は意見交換の場を持つべきだし、時には市長と何人かの校長を交えた懇談、あるいは現場の教員などとの懇談も必要ではないか。

傍聴者の少なさは一考を要する。市教委が何を考え、どんな活動をしているのか、もっと市民に知ってもらおう努力をすべきだ。HPによる公表は有効な手段ではあるが、それですべて済ませるのはどうか。PCを使えない人も多いのだから。報道関係者の傍聴も延べ8人とは。取材する必要がないと思われるからではなからうか。

(2) 教育委員会が管理・執行する事務

教育に関する基本的な方針について、松江市教育委員会としてどんな教育を目指し、問題点はどこにあり、その改善に向けどんなことをしたのか分からない。教育施設の設置、廃止を個別に詳細に検討した、とあるのも同じ。何をどのように検討したのかが出てこなければ、評価のしようがない。

(3) 管理・執行を教育長に委任する事務

各事業に対する説明、特記事項の記入でわかりやすくなった。

2 点検・評価の手法について

上記(1)～(3)共通だが、松江市教育委員会の1年間の活動を総括するとき、まず市教委としての活動の柱が何本かあり、それぞれの方針、目標、事業があって、その成果、反省点、課題を記していった方がわかりやすいし、市教委として何を目標しているのかをアピールしやすいのではないか。

例えば小中一貫教育についての施策は多方面にわたり一括ではくくりにくいかもしれないが、市教委としての方針、成果、課題などが分かりやすく出てくれば、保護者の関心を呼ぶだろうしHPや学校を通じた意見も出てきそう。もちろん100%の成果が挙がることなどないが、課題の解決方法や方針は保護者としてはぜひとも知りたいところだと思う。

要は市民に対してどうすれば市教委の活動、施策を理解してもらえるのか、という視点で点検・評価し報告書を作成するのにかかっている。点検・評価が内部に向けたものではなく、市民にお知らせするためのものであってほしい。そのための形式、評価方法などを工夫してほしい。

1 松江市教育委員会の自己点検・評価について

「平成20年度松江市教育委員会点検・評価報告書」は、平成19年度の報告書と比較すると、多くの改善点が見られます。

特に顕著な点は、「はじめに」という項目を新たに設け、松江市教育の大きな取り組みである「小・中一貫教育」について述べていることです。

また、(3)の教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務については、項目ごとに表を作成し、事業内容によっては「特記事項」を記載するとともに「成果」「課題」「今後の進め方」などが具体的に表記されていて、全体的に大変わかりやすくなっています。

しかしながら、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正された目的が、これまでの教育行政のあり方を問い、これからの時代に即応したより良い教育を目指すものであるならば、松江市の教育行政が何を主眼においてどのように改善実施し、どのような成果と課題があり、今後どのように進もうとしているのかを書き込む必要があるのではないのでしょうか。その結果として、さまざまな事業が起案実施され予算が執行されていくはずです。

一般市民の共感と理解・協力を得ることのできる点検・評価報告書を作成することによって、教育委員会や事務局内部での気づきが生まれ、各部署間の連携の必要性が増し、刻々と変化する教育環境に対応する力も強化されるものと思います。更なるブラッシュアップを望みます。

【評価者】

松江市教育委員会

委員長 久保田 康 毅
委員 西 村 康
委員 原 田 美穂子
委員 間 田 浩 彬
教育長 福 島 律 子

有識者委員

島根大学
教授 多々納 道 子

山陰中央新報社
論説委員会特別論説委員
藤 原 秀 晶

特定非営利活動法人あしづえ

理事長 園 山 土 肇

(順不同)